



諏訪小だより



富士見市立諏訪小学校

令和6年12月24日学校だより NO. 9

校長 石井 勝博

よい冬休みを

9月11日のすわっこまつりからはじまって、あっという間に過ぎ去った2学期だったように思います。50周年記念式典が9月下旬行われ、運動会、音楽会、修学旅行、校外学習など多くの行事がありましたが、保護者・地域の皆様にご支援・ご協力をいただき、どの行事にもしっかりと取り組むことができました。本当にありがとうございました。厚く御礼申し上げます。

冬休み、さまざまな体験を通して、豊かな心を育ててほしいと思います。例えば、家の仕事を手伝ったり、年末・年始のさまざまな行事に参加したり、年末年始に出会う人たちに気持ちのよいあいさつをしたりするなど貴重な体験をたくさんしてほしいと思います。

日頃、子どもとの時間がなかなかとれないというご家庭でも、冬休みは一緒に過ごす時間も増えると思います。子どもと一緒にさまざまな体験を通して、団欒を深め、意義のある冬休みとなることを願っています。



<終業式でのお話の一部>

2学期の始業式で校長先生がお願いしたことを覚えていますか。

女子のやり投げで、金メダルを獲得した北口榛花選手の話をしました。

そして、その中で大切にしてほしいこととして、様々な学習や体験を通して「追及する姿勢をもつ」というお話をしました。この2学期、「追及すること」ができましたか。例えば、かけ算の勉強で、2の段を勉強して、 $2 \times 1 = 2$ 、 $2 \times 2 = 4$ …と $2 \times 9 = 18$ と習います。そこで終わるのではなく、「 2×10 、 2×11 はあるのかな」「なんで2の段は 2×9 までなのかな」と追及していくことです。

もう一つ大切にしてほしいこととお話しました。「多様なものの見方・考え方を身に付ける」ということです。これは、1つの方法で解決できたら終わりではなく、他の方法で考えてみるということです。例えば、 7×8 を忘れてしまった友達に、「 7×7 は覚える？ 7×7 に7を足せばいいんだよ」「 7×8 と 8×7 は一緒だよ」「 7×5 と 7×3 を足せばいいんだよ」と教えてあげることができる学びをすることです。

ぜひ、これからも「追及すること」「多様な見方をすること」を大切に様々なことに取り組んでいきましょう。

※少し1年生には難しいお話でしたが、今、育てなければならない力は、単なる知識の習得ではなく、「創造する力」だと考えています。「これができたら、こんなこともできるのではないかなと発展的に考える力」「忘れてしまっても習ったことをもとに思い出すことができる力」を育てる授業を目指しています。

<お願い>

■転出（転居について）

転出（転居）予定がありましたら、できるだけ早く担任または学校（教頭）へ連絡をお願いします。

■マイラー（メール）での連絡について、当日のことは8：20までをお願いします。

※学童を利用している児童についての下校方法（学童へ行く・自宅へ帰る）については、電話でなくマイラー（当日の8：20まで）か連絡帳をお願いします。

■防犯、防災の点から門は常に閉鎖していただきますようお願いいたします。社会体育等で開けることがありましたら、開けた方が責任をもって閉めてください。校地内で事故等が起こった場合には下記へ連絡をお願いします。